

懐かしい信州大学 アルバムの中から



農学部正面ゲート表札



ゲート入り口と冠雪の経ヶ岳



畜産学科棟玄関付近



丹羽教授の授業



先生と畜産学科全学生



ソ連ハリコフ畜産研究所、オスタシュコ博士の特別講演
(信州大学農学部にて)

ソ連学者 Dr. Ostaskaの講義



スキンシップ・種豚と松井研究員



昭和41年お正月の我が家 登内講師、知恵子、窪村秘書、北村研究員



卒業の日の「丹羽研究室」 (写真 松井康彦氏提供)

前列左から丸山助手、登内講師、北村学生、丹羽教授、吉田助教授
後列は神野・大森・松井・大隈・竹村学生



「旧丹羽研究室」の卒業生と家族
平成28年9月3日
ホテル モリノ新百合ヶ丘にて

「旧丹羽研究室」

竹村一郎

丹羽せんせ！当時せんせは、畜産学科棟西側テニスコートで、昼休みやせんせの空きの時には、「丹羽研究室」の僕達と一緒にテニスに興じて下さいました。

あの頃、周りの年長者でテニスをされる人は見当たらず、おそらく千葉時代にせんせはテニスをしてはったのではと想像しているのですが、せんせが一番上手でした。

かく申す僕は前衛専門の左利きで、しかもフェイントをかけたりましたので、"竹村君は器用だね"と先生は仰っておられました。

あれは卒業後か在学中か失念して仕舞いましたが、大勢で雪ヶ谷のお宅へお邪魔しました。奥様のお料理の豪華絢爛な様に大変驚きました。研究室の学生をも本当に大切に考えてくださっておられます奥様に感謝感激でありました。

お宅を辞して近くのボーリング場へ連れて行ってもらいました。実は僕はボーリングは初体験だったのですが、せんせは腰も据わっておられ、アメリカ仕込みである事がすぐに分かりました。先生は信大へ赴任されます直前迄はアメリカに留学してはったのですから。

田舎の大学に入った筈の僕達ですが、伊那市の書店にも先生の御著書がズラーと並んでおり、本当は大変な先生の許に就いた僥倖で身も震える思いでありました。

ただ当時、その思いを勉学でお応え出来なかった自分の不甲斐なさが残念至極で御座います。

文字通り後悔先に立たずではありますが、あの若い時代の2年間を丹羽太左衛門先生とご一緒に、「丹羽研究室」の中で緊密な時間を過ごせました事、今から考えますと本当に有難い経験でありました。

改めまして、御礼を申し上げたいと思います。(昭和42年卒：竹村一郎)